

まほらいな市民大学の様子

令和5年12月15日（金）

## 『 私が出会った仏さま 』

講師 遠照寺住職 松井 教一 氏



松井教一氏から、『私の出会った仏さま』と題して、これからの生き方を考える法話がありました。心にしみる、家族愛に満ちた多くの話をお聴きすることができました。一面真っ白な雪に覆われた春のお彼岸に亡くなった祖母のお墓参りに訪れた若い娘さんの話。命は死を越えてつながっているという話。また、病気になり見守ってくれている家族への感謝の話。「愛する人との別れの悲しみをどう受け止め、残された者としてどう生きていくか」など、松井住職さんが出会った人々から学んだことや、琴線にふれるいくつかの話がありました。また、高遠町にある「法華道」の整備にかかわった話や、三義地域おしの手会で発刊した「美しい山里の村 行き逢う子らの美しき村」への取り組みの話もありました。

学生からは、「松井住職さまから素晴らしい出会いの中から琴線に触れる温かい法話をお聴きすることができました。とてもありがたかったです。」「ひと言ひと言が身にしみて涙、涙の1時間半でした。これから生きる道標になりました。」「母への思い、祖母の気持ちなど自分が年をとるごとにいろいろ感じるがあります。子どもたち、孫たちが幸せに元気に暮らせる世の中であってほしいと願います。」「温かい人々のつながり、心が温かくなります。ありがとう：ありがたい言葉です。」「といった感想がありました。